

令和5年度 生徒学校アンケート《付属中》結果のまとめ(「思う」と「やや思う」の割合)

令和5年12月11日実施

NO	質 問 項 目	R元	R2	R3	R4	R5	平均
A	よくわかる授業で学力がついてきた。	90%	95%	94%	97%	90%	93%
B	生徒指導が徹底され、落ち着いた学校生活が送れている。	69%	94%	98%	96%	85%	88%
C	学校の進路指導が役立っている。	69%	76%	92%	94%	57%	78%
D	クラブ活動を通して学ぶことが多い。	91%	80%	91%	90%	74%	85%
E	学校行事の盛んな学校である。	94%	88%	89%	85%	93%	90%
F	挨拶をよくするようになった。	79%	94%	99%	100%	100%	94%
G	マナーや学校のルールを大切にしている。	92%	93%	98%	96%	94%	95%
H	家庭学習の時間が増え、学習の習慣が身についてきた。	92%	81%	88%	78%	86%	85%
I	ボランティア活動には積極的に参加している。	48%	53%	44%	46%	51%	48%
J	学校に行くことは楽しい。	79%	83%	87%	91%	78%	84%
K	学校の施設・設備は整っている。	83%	78%	89%	84%	73%	81%
L	先生方は生徒に対して適切な対応をしている。	83%	84%	95%	95%	90%	89%
M	学校のホームページはよく見る。	34%	31%	28%	28%	46%	33%
N	学校の連絡文書は必ず保護者に渡すようにしている。	94%	90%	92%	86%	92%	91%
		78%	80%	85%	83%	79%	81%

平均値は79%となり、3年連続で数値を下げる結果となった。下げ幅が大きい項目については早急に対策を講じ、回復に努めていきたい。

Cの「学校の進路指導を信頼している」の項目が57%と5年間の推移の中で、最も数値が低かった。「わからない」と回答した数を差し引くと「思う」と「やや思う」の割合は88%となり高い水準に達する。進路指導として目に見える形で生徒に提示していくことが必要になるということだろうか。進路指導部と協議し、来年度の課題として改善していきたい。また、Dの「クラブ活動を通して学ぶことが多い。」も前年度に比べて下げ幅が大きく-16%となった。運動部では、人数の関係で公式戦に出場できない、あるいは出場しても初戦で敗退してしまうなど今までのような戦績をあげられていない現状がある。「試合に出場し勝利を目指すだけが目的ではない」という本校クラブ活動の方針について、生徒に再度周知徹底する必要がある。

その一方で、M「学校のホームページはよく見る。」の項目では、5年間で最も高い数値を示した。中学生が親しみを感じるような内容とこまめな情報発信に努めていきたい。

令和5年度 生徒学校アンケート《普通科》結果のまとめ(「思う」と「やや思う」の割合)

令和5年12月11日実施

NO	質問項目	R元	R2	R3	R4	R5	平均
A	よくわかる授業で学力がついてきた。	61%	88%	91%	90%	81%	82%
B	生徒指導が徹底され、落ち着いた学校生活が送れている。	58%	89%	93%	90%	77%	81%
C	学校の進路指導が役立っている。	64%	89%	92%	86%	79%	82%
D	クラブ活動を通して学ぶことが多い。	66%	75%	78%	78%	72%	74%
E	学校行事の盛んな学校である。	63%	80%	89%	85%	81%	80%
F	挨拶をよくするようになった。	65%	88%	92%	92%	83%	84%
G	マナーや学校のルールを大切にしている。	81%	96%	96%	96%	95%	93%
H	家庭学習の時間が増え、学習の習慣が身についてきた。	37%	67%	75%	60%	58%	59%
I	ボランティア活動には積極的に参加している。	18%	39%	55%	37%	34%	37%
J	学校に行くことは楽しい。	65%	80%	84%	81%	76%	77%
K	学校の施設・設備は整っている。	47%	70%	75%	70%	61%	65%
L	先生方は生徒に対して適切な対応をしている。	56%	80%	89%	86%	84%	79%
M	学校のホームページはよく見る。	11%	27%	37%	22%	25%	24%
N	学校の連絡文書は必ず保護者に渡すようにしている。	79%	88%	88%	88%	91%	87%
		55%	75%	81%	76%	71%	72%

好意的評価の平均値は昨年度より数値を若干下げることとなった。項目別に見ると、B「生徒指導が徹底され、落ち着いた学校生活が送れている。」が大きく数値を下げている。学年別にみると1年生の約4分の1の生徒が否定的に回答している。支援が必要と思われる生徒が多く入学しているが、本校の教育システムがそのような生徒たちに上手く対応できておらず、学年団が様々なトラブルへの事後処理対応に追われていることも影響しているのかもしれない。いずれにしても生徒にとって「安心・安全な学校」づくりは、在校生の満足度を高めるだけでなく、次年度以降の生徒募集においても大変重要である。学年団任せにするのではなく、他学年からも必要があれば応援を派遣するなど科のスタッフ全員で心がけていきたい。

K「学校の施設・設備は整っている。」が3年連続で数値を下げることになった。特に1・2年生の評価が厳しいようだ。近年公立小中学校では校舎の新築や施設の改修が進み、快適な教育環境で学ぶ児童や生徒が増えていることが背景にあるのかもしれない。修理が必要な箇所については早急に修繕し、清掃により力を入れるなど少しでも快適な環境をつくるよう努力していきたい。

最後に、Lの先生の対応であるが、今年度は84%と昨年度より評価を下げる形となったが、3年連続で高い水準で推移している。教職員が日ごろから生徒を大切に、保護者とも連絡を密に取り合っていることがうかがえる。この姿勢を今後も持続していきたい。

令和5年度 生徒学校アンケート《六年制》結果のまとめ(「思う」と「やや思う」の割合)

令和5年12月11日実施

NO	質 問 項 目	R元	R2	R3	R4	R5	平均
A	よくわかる授業で学力がついてきた。	74%	93%	99%	95%	80%	88%
B	生徒指導が徹底され、落ち着いた学校生活が送れている。	70%	93%	94%	96%	86%	88%
C	学校の進路指導が役立っている。	74%	93%	92%	90%	71%	84%
D	クラブ活動を通して学ぶことが多い。	73%	78%	83%	85%	69%	78%
E	学校行事の盛んな学校である。	77%	81%	98%	84%	73%	83%
F	挨拶をよくするようになった。	73%	88%	97%	95%	80%	87%
G	マナーや学校のルールを大切にしている。	89%	97%	98%	97%	96%	95%
H	家庭学習の時間が増え、学習の習慣が身についてきた。	79%	92%	90%	87%	88%	87%
I	ボランティア活動には積極的に参加している。	47%	43%	45%	47%	35%	43%
J	学校に行くことは楽しい。	62%	69%	72%	76%	74%	71%
K	学校の施設・設備は整っている。	55%	54%	74%	67%	34%	57%
L	先生方は生徒に対して適切な対応をしている。	68%	87%	92%	92%	78%	83%
M	学校のホームページはよく見る。	16%	28%	34%	25%	22%	25%
N	学校の連絡文書は必ず保護者に渡すようにしている。	92%	97%	92%	91%	90%	92%
		68%	78%	83%	81%	70%	76%

かなり厳しいアンケート結果になった。好意的評価90%を超える項目が7項目から2項目に激減した。原因を究明し、次年度へ向けて対策を講じていきたい。特にAの「よくわかる授業で学力がついてきた。」の項目で、15%もの数値を下げている。六年制普通科の根幹をなす項目であり、大変気がかりだ。次年度は探究的な手法を用いた授業の導入や教科横断的な取り組みなど新しい試みを行い、授業改善に取り組んでいく予定である。数値の回復に期待したい。Kの「学校の施設・設備は整っている。」の項目でも厳しい結果となった。日常生活に支障がないよう可能な限り修繕に取り組んできたが、経年劣化による施設の老朽化は何ともしがたい。特に3階東側の教室は床が大きくひずんでおり、学習時に机ががたつき生徒に不自由な思いをさせてしまっている。ただし、アンケート回答後に実施された共通テストを終えた3年生からは、外部会場に比べ本校の校舎やトイレはきれいだという声が多く聞かれた。清掃を徹底するなど、快適な環境づくりに努めていきたい。

またCの「学校の進路指導が役立っている。」も90%を割ってしまい、5年間で最も低い割合になってしまった。Cについては、6年間または3年間在籍した生徒の出口を保障することであり、この数値が年々減少傾向にあるのは気がかりだ。ただ、この項目を分析してみると、低学年でこの傾向が強いように思われる。1学期に文理選択ガイダンスを実施しているが、それ以外にも生徒が進路について日常的に考えられるような「しかけ」を用意していきたい。進路指導部と協力して、対応していきたい。